

28年度対策の実施状況について(7/19時点)



6月16日に工事着手し、崩壊斜面の土砂移動を抑制し、緑化の確実性を向上させる「袋型土留工」(対策①)の設置を進め、7/18(月)に施工を完了したところ。また、技術検討会委員の助言も得つつ、航空緑化工(対策③)の一部前倒し実施にも取り組んでいるところ。

■袋型土留工(対策①)：設置完了(300袋)

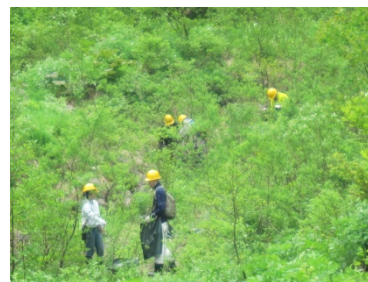


【ヘリによる施工状況】



【袋型土留工設置状況】

■航空緑化工(対策③)：ヤナギの枝散布等を一部前倒し実施(土留工設置箇所上部にヘリより散布)



事業で活用



枝をそのまま散布



麻布で包んだものを散布

【緑化用資材(ヤナギの枝等)の現地採取状況(石川県立大学・環境省と合同実施(6/1))】

【ヤナギの枝(2パターン)の散布状況】

※白山の生態系に配慮し、崩壊地周辺に自生している植物により緑化を実施